レットヨールド・フロム・ヨーロッパ

「レッドゴールドフロムヨーロッパ」とは、ANICAV(イタリア野菜保存食品 産業協会)が欧州連合(EU)の経済協力により展開中の、100%欧州産のトマト 保存食品のおいしさ、安全性、汎用性を推奨するキャンペーンプロジェクトで

す。ANICAVはトマト保存加工企業を代表 する世界最大規模の協会で、90社の会員 は全イタリアの6割以上の加工トマトお よび、世界中ほぼすべての皮むきホール トマト製品を生産しています。

AGRICULTURAL PRODUCTS





世界中どこの家の台所の棚にもある、 地中海の太陽の恵みを浴びた トマト保存食品。 便利な頼もしい味方です。

皮むきホールトマト

収穫後すぐ高温で皮むき、厳しく選 別した後に自らの果汁とともに缶に密 封し、加熱・殺菌しています。トマト保存 食品中、最もポピュラー。甘味と酸味の バランスが良くジューシーなので、肉 や野菜の煮込み、ミートソースからスー プまで、オールマイティーに使えます。



パッサータ(あらごしトマト)

チェリートマト

ホールトマトとの違いは、皮むき・選 別後に果汁を加えずにミキサーにかけ、 あらごしにしていること。果汁量が少 ないので少しの調理でソース状になり 時短料理に最適。ピザソースや肉、魚 料理に添えるソース、パスタソースに も便利に使えます。 等に幅広く使えます。

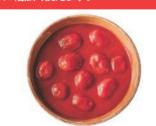


カットトマト

高温で皮をむいたあと角切りにカッ トして種を取り除き、果汁とともに密 封、加熱、殺菌しています。カットしたト マトの食感を生かしたい料理に。ミネス トローネやカポナータ(ラタトゥイユ) のようにトマトを「食べたい」料理に最



小さく、味が濃いチェリートマトを収 穫後すぐに果汁とともに缶に密封、加 熱・殺菌。チェリートマトそのままの味と 形を楽しめます。形を生かして、そのま ま前菜に。軽い加熱でつくるパスタソ ースや、アクアパッツァなどの魚料理



新たまねぎや グリーンピースを使って 春らんまん♪

聞

野菜のラザニア

al blok a L AX
<材料・*人分>
・ラザニアシート(生)250g
・トマトパッサータ(あらごしトマト) 10
·たまねぎ小1個
・にんじん1本
・ズッキーニ大1個
·黄パプリカ1個
・グリーンピース(生または冷凍) 200g
·白ワイン1/2カップ
・モッツァレラチーズ300g
・パルミジャーノチーズ80g
・ベイリーフ1枚
・オリーブオイル(EXヴァージン)大さじ2
・塩、こしょう少々
4 /h-1 1-h->

熱い時はもちろん、 冷めても美味♪



- たまねぎ、にんじん、ズッキーニ、パプリカはみじん切りにする。
- ❷ 鍋にオリーブオイルを入れて火にかけ、にんじんとたまねぎを弱火で炒め、しんなりしたらズッキー二とパプリカ、グ リーンピースを加える。中火で5分炒め、塩・こしょうで味つけする。
- ❸ ②に白ワインを加えて蒸発させる。あらごしトマト、カップ1杯の水(分量外)、ベイリーフを加えて沸騰させ、火を弱め、 20~30分間煮詰める。味をみて塩・こしょうを足す。オーブンを180℃に予熱しておく。
- ❷ 長方形のオーブン皿の底に野菜ソースを広げ、ラザニアをのせる。上に野菜ソースを敷き、モッツァレラチーズをちぎっ て散らし、パルミジャーノチーズをふりかける。これを繰り返し、一番上は、ソースとたっぷりのパルミジャーノチーズで
- ラザニアをオーブンで20~25分間焼く。オーブンから取り出す5分前にグリル機能をオンにする。ラザニアを取り出し、 5分間休ませる。



•植物油 ・塩、こしょう <作り方>

<材料·*人分> ・スパゲッティ

・バジリコ..

· 7小/ / 1

・トマト水煮缶(ホール).

・にんにく(みじん切り).

- トマトソースをつくる。フライパンに油とにんにくを入れ、にんにくが色づきはじめるまで炒める。水けをきり種を取って みじん切りしたトマト水煮、バジリコ1枚、砂糖を加え、15分間弱火で煮込み、塩で味を調える。
- ❷ 鍋に湯を沸かし、①のトマトソースを10分煮込んだ頃に、塩を加えてスパゲッティをアルデンテにゆで、ザルに上げて
- ❸ 大きな耐熱ボウルにスパゲッティを入れて、①の温かいトマトソースを加える。よく混ぜ、スパゲッティを少し冷ます。
- ◆ ボウルに卵、すりおろしたチーズ、塩・こしょうを混ぜ、卵液をつくる。粗熱が取れたスパゲッティに卵液を加える。
- テフロンのフライパンに油を熱していったん火から外し、卵液であえたスパゲッティを加え、その上にスライスしたモッ ツァレラチーズを広げる。さらにその上に残り半量のスパゲッティを広げる。4~5cmほどの厚さにする。
- フライパンを再度火にかけ、そのまま片側に火が通るまで焼く。そのあと、フタまたは皿の上に焼いた面を下のままスライドさせる。 フライパンをその上に置いて素早くひっくり返し、上下逆にして、下の面もしっかり焼き色がつくまで焼く。



このプロモーションキャンペーンの内容は作成者の見解だけを表しており、作成者が唯一 の責任者です。欧州委員会は、その内容と使用に対してもいかなる責任も負いません。











